

令和4年度

鹿屋市下水道事業会計決算書

鹿屋市下水道事業

目 次

下水道事業決算書

令和4年度鹿屋市下水道事業決算報告書	1
令和4年度鹿屋市下水道事業損益計算書	3
令和4年度鹿屋市下水道事業剰余金計算書	5
令和4年度鹿屋市下水道事業剰余金処分計算書	6
令和4年度鹿屋市下水道事業貸借対照表	7
注記	11

令和4年度鹿屋市下水道事業決算報告書（消費税込）

(1) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額			合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法 第24条第3項の 規定による支出額 に係る財源充当額				
第1款 下水道事業収益	913,729,000	0	0	913,729,000	915,779,462	2,050,462	
第1項 営業収益	240,804,000	0	0	240,804,000	243,798,521	2,994,521	うち、仮受消費税及び地方消費税 19,082,111円
第2項 営業外収益	672,924,000	0	0	672,924,000	671,980,941	△ 943,059	うち、仮受消費税及び地方消費税 363円
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による 繰越額	不 用 額	備 考	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営 企業法第 24条第3 項の規定 による 支 出 額	小 計	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による 繰 越 額					合 計
第1款 下水道事業費用	861,530,000	0	0	0	0	861,530,000	0	861,530,000	813,467,936	0	48,062,064	
第1項 営業費用	776,632,000	0	0	0	0	776,632,000	0	776,632,000	739,619,822	0	37,012,178	うち、仮払消費税及び地方消費税 14,815,184円
第2項 営業外費用	81,897,000	0	0	0	0	81,897,000	0	81,897,000	73,848,114	0	8,048,886	
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	1,000	
第4項 予備費	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000	0	0	3,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額					合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	継続費通 次繰越額 に係る財 源充当額				
第1款 資本的収入	325,179,000	0	325,179,000	57,550,000	0	382,729,000	334,337,020	△ 48,391,980	
第1項 企業債	173,300,000	0	173,300,000	29,960,000	0	203,260,000	170,300,000	△ 32,960,000	翌年度繰越額に係る 財源充当額 28,180,000円
第2項 補助金	144,483,000	0	144,483,000	27,590,000	0	172,073,000	152,146,000	△ 19,927,000	翌年度繰越額に係る 財源充当額 29,357,000円
第3項 分担金及 び負担金	7,395,000	0	7,395,000	0	0	7,395,000	11,891,020	4,496,020	
第4項 固定資産 売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			不 用 額	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰 越 額	継続費 通 次 繰越額	合 計		地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰 越 額	継続費 通 次 繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	679,487,000	0	0	679,487,000	59,240,000	0	738,727,000	656,245,831	31,779,000	29,300,000	61,079,000	21,402,169	〔うち、仮払消費税 及び地方消費税 19,409,456円〕
第1項 建設改良費	331,789,000	0	0	331,789,000	59,240,000	0	391,029,000	308,549,587	31,779,000	29,300,000	61,079,000	21,400,413	
第2項 企業債償還金	347,698,000	0	0	347,698,000	0	0	347,698,000	347,696,244	0	0	0	1,756	
第3項 補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額321,908,811円は、減債積立金47,322,463円、過年度分損益勘定留保資金200,260,291円、当年度分損益勘定留保資金59,807,512円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額14,518,545円で補てんした。

令和4年度鹿屋市下水道事業損益計算書 (消費税抜)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益		
	(1) 下水道使用料	190,823,330	
	(2) 他会計負担金	33,881,880	
	(3) その他営業収益	11,200	224,716,410
		<hr/>	
2	営業費用		
	(1) 管路費	2,013,147	
	(2) 処理場費	122,795,997	
	(3) 総係費	97,866,674	
	(4) 減価償却費	502,128,820	724,804,638
		<hr/>	<hr/>
	営業損失		500,088,228
3	営業外収益		
	(1) 土地物件収益	7,500	
	(2) 長期前受金戻入	221,021,382	
	(3) 他会計補助金	440,862,120	
	(4) 雑収益	34,467	661,925,469
		<hr/>	

(単位：円)

4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	73,848,114		
	(2) 雑支出	<u>45,439</u>	<u>73,893,553</u>	<u>588,031,916</u>
	経常利益			87,943,688
	当年度純利益			87,943,688
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>47,322,463</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>135,266,151</u></u>

令和4年度鹿屋市下水道事業剰余金計算書（消費税抜）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

	資本金	剰余金							資本合計
		資本剰余金			利益剰余金				
		受贈財産 評価額	補助金	資本 剰余金 合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
前年度末残高	2,827,885,436	503,168,251	1,704,586	504,872,837	0	0	94,075,809	94,075,809	3,426,834,082
前年度処分額	46,753,346	0	0	0	47,322,463	0	△ 94,075,809	△ 46,753,346	0
議会の議決による処分額	46,753,346	0	0	0	47,322,463	0	△ 94,075,809	△ 46,753,346	0
資本金への組入	46,753,346	0	0	0	0	0	△ 46,753,346	△ 46,753,346	0
減債積立金の積立	0	0	0	0	47,322,463	0	△ 47,322,463	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処分後残高	2,874,638,782	503,168,251	1,704,586	504,872,837	47,322,463	0	(繰越利益剰余金) 0	47,322,463	3,426,834,082
当年度変動額	0	0	0	0	△ 47,322,463	0	135,266,151	87,943,688	87,943,688
積立金使用額の振替	0	0	0	0	△ 47,322,463	0	47,322,463	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	87,943,688	87,943,688	87,943,688
当年度末残高	2,874,638,782	503,168,251	1,704,586	504,872,837	0	0	(当年度未処分利益剰余金) 135,266,151	135,266,151	3,514,777,770

(注) 1 この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

2 議会の議決による処分額の欄は、法第32条第2項の規定により議決による処分を行ったものについて、それぞれ記載するものであること。

令和4年度鹿屋市下水道事業剰余金処分計算書（消費税抜）

（単位：円）

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当 年 度 末 残 高	2,874,638,782	504,872,837	135,266,151
議 会 の 議 決 に よ る 処 分 額	47,322,463	0	△ 135,266,151
資 本 金 へ の 組 入	47,322,463	0	△ 47,322,463
減 債 積 立 金 の 積 立	0	0	△ 87,943,688
建 設 改 良 積 立 金 の 積 立	0	0	0
処 分 後 残 高	2,921,961,245	504,872,837	（繰越利益剰余金） 0

（注）この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものであること。

令和4年度鹿屋市下水道事業貸借対照表 (消費税抜)

(令和5年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1	固 定 資 産			
	(1) 有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		506,357,251	
	ロ 建 物	379,831,302		
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 61,607,321</u>	318,223,981	
	ハ 構 築 物	12,957,230,817		
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,190,167,846</u>	11,767,062,971	
	ニ 機 械 及 び 装 置	1,132,035,231		
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 328,748,667</u>	803,286,564	
	ホ 車 両 運 搬 具	65,714		
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 62,427</u>	3,287	
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	4,708,413		
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,050,331</u>	2,658,082	
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>79,163,387</u>	
	有形固定資産合計		13,476,755,523	
	固定資産合計			13,476,755,523

(単位：円)

2	流 動 資 産			
	(1) 現 金 預 金		298,970,632	
	(2) 未 収 金	51,470,101		
	未収金貸倒引当金	<u>△ 1,065,000</u>	50,405,101	
	(3) その他流動資産		<u>240,000</u>	
	流動資産合計			<u>349,615,733</u>
	資産合計			<u><u>13,826,371,256</u></u>

負債の部

(単位：円)

3	固定負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,250,583,120	
	固定負債合計		4,250,583,120
4	流動負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	340,199,914	
(2)	未払金	32,592,556	
(3)	引当金		
イ	賞与引当金	5,790,174	
ロ	法定福利費引当金	1,182,397	
	引当金合計		6,972,571
(4)	その他流動負債	512,911	
	流動負債合計		380,277,952
5	繰延収益		
(1)	長期前受金	6,383,795,782	
(2)	長期前受金収益化累計額	△ 703,063,368	
	繰延収益合計		5,680,732,414
	負債合計		10,311,593,486

資 本 の 部

(単位：円)

6	資 本 金			2, 874, 638, 782
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	503, 168, 251		
	ロ 補 助 金 (国 ・ 県 ・ 市)	1, 704, 586		
	資 本 剰 余 金 合 計		504, 872, 837	
(2)	利 益 剰 余 金			
	イ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	135, 266, 151		
	利 益 剰 余 金 合 計		135, 266, 151	
	剰 余 金 合 計			640, 138, 988
	資 本 合 計			3, 514, 777, 770
	負 債 資 本 合 計			13, 826, 371, 256

注 記

【令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）】

I 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

・減価償却の方法 定額法（車両運搬具のみ定率法）

・主な耐用年数

建物 8～50年

構築物 10～50年

機械及び装置 6～30年

車両 5年

器具及び備品 4～20年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

3 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

Ⅱ 貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、3,110,583,902円である。

2 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

令和4年6月において、期末手当及び勤勉手当として8,245,944円を支給することとなったため、賞与引当金5,920,156円を取崩した。

(2) 法定福利費引当金

令和4年6月において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として1,606,720円を支給することとなったため、法定福利費引当金1,159,403円を取崩した。

(3) 貸倒引当金

令和4年度において、不納欠損による損失として、貸倒引当金182,926円を取崩した。

Ⅲ セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

鹿屋市下水道事業会計は、公共下水道事業、農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、この2つを報告セグメントとしている。なお、各報告セグメントの事業内容及び財務情報の内訳は以下のとおりである。

セグメント区分	事業内容
公共下水道事業	下水道整備済区域における汚水の処理
農業集落排水事業	輝北町上百引地区における汚水の処理

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位 千円)

区分	公共下水道事業	農業集落排水事業	下水道事業
営業収益	214,543	10,174	224,717
営業費用	680,186	44,619	724,805
営業損益	△ 465,643	△ 34,445	△ 500,088
経常損益	73,934	14,010	87,944
セグメント資産	13,177,440	648,931	13,826,371
セグメント負債	9,916,931	394,662	10,311,593
その他の項目			
他会計補助金	473,862	40,033	513,895
減価償却費	476,727	25,402	502,129
固定資産増加額	△ 192,815	△ 25,402	△ 218,217